

各種技能競技大会に係る周知広報業務（令和3年度）の実施状況について

1 事業の概要

各種技能競技大会を実施する事業者及び大会を共催する地方公共団体等と連携を図り、演出家等をプロデューサーに配置するなどし、広く一般国民、特に次代を担う若者を対象に、国内外の各種技能競技大会を通じて技能に対する関心を喚起する魅力ある広報活動を展開する。

(1) 業務内容

- ・周知・広報活動実施計画等の作成
- ・国内大会に関する周知・広報
- ・国際大会に関する周知・広報
- ・2026年以降に開催される国際大会の日本への招致に関する周知・広報

(2) 事業の目的

各種技能競技大会等の実施を通じ、広く国民に対し、ものづくりの魅力を発信し、社会における技能尊重気運を醸成するため各種技能競技大会等の推進事業を実施している。この事業の目的は、熟年技能者の引退に伴い、我が国の国際競争力の源泉である優れた技能の継承・発展が大きな課題となる中、技能労働者の地位の向上を図り、若年者のものづくり離れ・技能離れを防ぐとともに、若年者が進んで技能者を目指す環境を整備し、ものづくり人材の確保・育成につなげることである。

本業務は、大会事業で実施する各種競技大会や、技能五輪国際大会の我が国への招致について、大会事業受託者との緊密な連携を図りながら広報活動を展開することにより、大会事業の実施効果を大きく高めることを目的とする。

(3) 契約期間

令和3年4月1日から令和4年3月31日までの1年間（第2期）

(4) 受託事業者

株式会社エヌ・ティ・ティアド

(5) 実施状況評価期間

令和3年4月1日から令和4年3月31日（1年間）

(6) 受託事業者決定の経緯

総合評価落札方式で2者から提出のあった提案書等を評価し、外部有識者を委員に含めた技術審査委員会で評価した技術点及び価格点の合計点が1位であった上記の者を落札者とした。

2 確保されるべきサービスの質の達成状況及び評価

以下のとおり、①～④については新型コロナウイルス感染拡大防止のため各種技能競技大会の会場への入場は選手・関係者等のみ^(※)としたことに伴い、一部の評価項目については実績が限定的なものとなっているが、代替指標として開閉会式や競技風景等のWeb配信の視聴数を使用し、技能尊重気運の醸成に努めるとともに工夫した周知広報を行った。

これら取り組みにより、当初目標である「国内大会への来場者数 計150,000人以上」については、代替指標（一部来場者＋ライブ中継視聴者数）の実績（154,069人・アクセス）により十分に達成しており、サービスの質は確保されているものと考えている。

また、⑥～⑧については⑦を除き以下のとおり適切に実施された。⑦については新型コロナウイルス感染拡大防止のため通常の技能競技大会併催イベントの開催を中止した。今後は本業務において実施する周知・広報手段について実態分析等を行い、改善を図っていくこととしたい。

(※) 第16回若年者ものづくり競技大会(2021.8)及び第59回技能五輪全国大会(2021.12)は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会場への入場は選手・関係者等のみとし、開閉会式や競技風景等はWeb配信とした。

○評価項目及び実績

①民間事業者は、別紙1「仕様書」第3(1)において策定した周知・広報活動実施計画書にて定めた業務ごとの作業方針、スケジュールに沿って本業務を確実に実行し、成果物を納入期日までに納品すること。

【実績】適切に実施された。

②国内大会（開閉会式典を除く）への来場者数 計130,000人以上

【実績】28,423人(※)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各種技能競技大会の会場への入場を選手・関係者等のみとしたため実績は限定的。

【代替指標】国内大会のライブ中継視聴者数

【代替実績】ライブ中継視聴者数：125,646アクセス

【代替理由】新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各大会会場への入場を選手・関係者等のみとした各種技能競技大会について、代替措置として競技のライブ中継を実施したため。

【実績＋代替実績】154,069

(うち来場者28,423人、ライブ中継視聴者数:125,646アクセス)

③第16回若年者ものづくり競技大会 4,000人以上

【実績】2,474人(※)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大会会場への入場を選手・関係者等のみとしたため実績は一部のみ。

【代替指標】第16回若年者ものづくり競技大会のライブ中継視聴者数

【代替実績】ライブ中継視聴者数：10,791アクセス

【代替理由】新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大会会場への入場を選手・関係者等のみとした第16回若年者ものづくり競技大会について、代替措置として競技のライブ中継を実施したため。

【実績+代替実績】13,265

(うち来場者2,474人、ライブ中継視聴者数：10,791アクセス)

④第59回技能五輪全国大会 126,000人以上

【実績】25,949人(※)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大会会場への入場を選手・関係者等のみとしたため実績は一部のみ。

【代替指標】第59回技能五輪全国大会のライブ中継視聴者数

【代替実績】ライブ中継視聴者数：114,855アクセス

【代替理由】新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大会会場への入場を選手・関係者等のみとした第59回技能五輪全国大会について、代替措置として競技のライブ中継を実施したため。

【実績+代替実績】140,804

(うち来場者25,949人、ライブ中継視聴者数：114,855アクセス)

⑤Webサイト及びSNSアカウントの閲覧数 1,000,000件以上

【実績】1,294,462件

⑥各種催事並びにWebサイト等で徴したアンケートにおいて、本業務において実施した広報活動により、各種大会を知った者の割合が50%を超えるよう、技能競技大会に対する認知を高めること。

【実績】50.9%

<内訳>

アンケートの対象となる数(アンケート実施可能数)：不明(Webサイト等閲覧者となるため)

実際にアンケートを実施した数：688人

実際に回答があった数：688人

目標に合致する回答の数：350人(50.9%)

- ⑦本業務において実施したイベント参加者に対して実施するアンケートにおいて、当該イベントの認知経路(イベントをどこで知ったか)について、50%以上の者から、本業務において実施した周知・広報手段を介して認知した旨の回答を得ること。

【実績】なし

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からすべての併催イベントを中止したため。

- ⑧専用 Web サイト等に掲載したコンテンツの閲覧者に対して実施するアンケートにおいて、60%以上の者から、「従前よりも技能・ものづくりに対する興味・関心が高まった」旨の回答を得ること。

【実績】98%

<内訳>

アンケートの対象となる数(アンケート実施可能数): 不明(Web サイト等閲覧者となるため)

実際にアンケートを実施した数: 835 人

実際に回答があった数: 835 人

目標に合致する回答の数: 818 人(98%)

3 実施経費の状況及び評価

(1) 実施経費

- ・令和3年度 84,998,200 円(税抜)^(※)
- ・令和2年度 97,287,413 円(税抜)

(※) 変更契約前は 72,500,000 円(税抜)。増額部分は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各種技能競技大会の開閉会式や競技風景等を Web 配信するための業務を充実化する旨の実施要項別添「仕様書」を変更したことによる。なお、実施要項上の業務内容の変更はない。

(2) 経費削減効果

令和2年度の契約額と令和3年度の契約額(いずれも総合評価落札方式)を比較すると、業務の効率化や入札効果等により当初契約で約 26%減、変更後契約で約 13%減となっている。

なお、令和2年度と令和3年度の周知・広報に関する業務内容に大幅な差異はない。

4 民間事業者からの改善提案による改善実施事項等

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各技能競技大会の会場への入場を選手・関係者等のみとする場合、会場への直接来場を積極的に促すことができないことから、大会の様子を Web で配信する業務を充実化することとし、評価項目である来場数の一部実績がなくなることから、Web での競技配信に係るアクセス数を来場者数とみなす代替提案があり採用に至った。

また、競技会場において移動式カメラを多用して撮影することで、選手や選手の手元がよりフォーカスされ、競技の様子が鮮明に視聴者に伝わるように機材の充実を図った。

5 全体的な評価

(1) コロナ禍での対応

コロナ禍での事業実施となり、開閉会式や競技風景等を Web 配信する業務を充実化するなどの工夫した周知広報を行うため、年度途中で業務内容の変更に伴う契約変更を行う必要があったが、受託者として日頃から会議等の場で積極的に改善提案を行うなど事業の適正な運営に協力的であり、委託者と一体となって技能尊重気運の醸成に努めた。

(2) 法令違反行為等の有無

本事業において、令和4年3月末現在、民間事業者が業務改善指示等を受け又は業務に係る法令違反行為等を行った事実はなかった。

(3) 実施状況についての外部有識者等によるチェック

雇用保険二事業に関する懇談会において、経営者団体、民間企業等の代表者により目標の妥当性、実績について厳格な審査及び評価が行われている。

また、調達・契約の適正性については、公共調達委員会及び外部有識者で構成される公共調達中央監視委員会において事業実施状況のチェックを受けることが予定されている。

(4) 競争性の確保

本事業の入札においては、2者からの応札があり、競争性は確保されたと評価できる。

(5) 質に係る目標

一部の業務について新型コロナウイルスの影響により技能競技大会の会場への入場を選手・関係者等のみとしたため、実績が限定的なものとなる項目があるものの、その他の業務についてはサービスの質の確保のために Web での競技配信や Web アンケートを徴するなどの代替措置をとるなど、業務の工夫を行うことにより対象業務の質は確保されているものと評価できる。

また、Web での競技配信について、選手、競技関係者等から多くの好評意見を得ており、次年度以降も継続していくことによりさらなる満足度向上が期待できる。

(6) 経費削減効果

令和2年度の契約額と令和3年度の契約額を比較すると、仕様の精緻化や入札効果等により約13%経費の削減が図られている。

6 今後の方針

上述のとおり、本事業については、総合的に判断して良好な実施結果が得られており、今後の事業についても、自ら質の維持と競争性の確保による経費削減を図っていくこととしたい。

事業実施に当たっては、利用者にとってよりわかりやすく充実したWebサイトの運営、各種印刷物の作成・配布、併催イベントの実施、マスメディアとの連携、広報効果の測定及び分析等を行うとともに、入札に当たっては新規事業者の参入障壁とならないよう、仕様書を毎年度見直すとともに、入札説明会参加者や関連照会を受けた者に対して積極的に声がけ等を行い、複数応札となるよう努めることとする。